

報道関係各位

電通と博報堂は共同で、デジタル制作の標準フローと費目のモデル案を作成

平成13年12月13日

株式会社 電通

株式会社 博報堂

株式会社電通（成田豊社長）と株式会社博報堂（宮川智雄社長）は、新聞広告と雑誌広告における、制作作業の本格的デジタル化に対応し、①「デジタル作業工程（デジタルワークフロー）の標準」と「各工程の名称統一」ならびに「その作業内容の定義付け」、②それにとまなう「料金費目の名称統一」、を行うモデル案を作成いたしましたのでお知らせいたします。

近年、広告制作業務のデジタル化の進展とともに、新聞や雑誌向けの広告原稿制作過程で、実際の制作過程はデジタル化されていながら、従来のアナログ制作過程における料金費目が踏襲されたままという事態が発生しています。このため、広告主と広告会社及び制作会社、製版会社の間での受発注業務に際し、制作過程と料金費目を対応させ、料金を明確化させる必要が生じてきました。

今回の「標準化モデル案」作成は、このような課題に対応し、広告原稿制作作業に関わる業界において、よりスムーズな制作業務を可能にするインフラ整備を目的とするものです。

本日は、広告会社における基本フレームの策定を公表するものですが、今後は、この基本フレームのもとに、制作会社、製版会社各社のご協力を仰ぎ、詳細な作業工程名やその内容と料金費目などの調整作業をさらに進め、業界全体のインフラとして機能させていきたいと考えております。

- 添付資料 ①「グラフィック広告のデジタルワークフロー」
②「グラフィック広告の『費目と作業内容』」
③「用語解説」

（本件に関するお問い合わせ先）

株式会社電通	広報室	小林、小片	Tel 03-5551-5595
株式会社博報堂	広報室	寺島、宮川	Tel 03-5446-6161